



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム 通信 No.27 2025年4~6月号

今年の夏は例年にも増して暑い日々が続いています。寝苦しい夜も多くなりますので、どうぞ体調管理に気をつけていただきたいと思います。

さて、4月から新しい年度を迎え世田谷パブリックシアターの学芸事業は新体制となり新たな風が吹き込みました。これまで培ってきた知見にさらに磨きをかけて、劇場がどのように地域社会の皆さんにとってコミュニケーションを作る場であることができるかを考えていきたいと思います。

学芸事業の中には、劇場で行うワークショップやレクチャーと、劇場の外に出て活動する事業があります。それぞれに意味があり、また異なる成果があると考えます。例えば、「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」は、劇場からスタッフが学校に出向いてワークショップを行います。生徒たちは、少なからず自分の意志ではないところから参加することになるのですが、そこには大きな意味があると思っています。普通の授業とは違って、友だちと一緒に身体を使って表現をすることは、人と人とのコミュニケーションを図る上でとても有効であると思います。生徒の皆さんが、ワークショップの最初と終わりで表情が大きく変わることに私はいつも大きな喜びを感じます。人は決して他者の心を完全には理解できないものだと思います。しかし、だからと言って距離を持ったままでは、その溝は深まるばかりです。実際、今世界で現実には起きている争いを見ていると、そのように感じざるを得ないことだらけです。だからこそ、最初は強引でも他者と協力して物事を表現することで、相手を知り自分との差も認識することができるのだと思います。

かたや、劇場で行う「デイ・イン・ザ・シアター」では、参加者の皆さんが自主的に集まってくださいます。4月5日の劇場の誕生日には、私自身が参加者の皆さんからインタビューをされる形で劇場そのものの意味を考えてくださり、みんなで詩を作って発表してくださいました。そこには、他者と協力しながら一つのを共有し、作り上げていくという創作の意欲が育まれます。場が作る力がそこでは発揮され、人々の協力関係が生まれるのです。演劇や舞台芸術は決して一人で表現できるものではありません。自分の主張をしながらも同時に妥協も必要になります。しかし、これは決してネガティブなことではなく、他者との違いを知る上で大きな意味があると考えます。それこそが劇場が生み出す力だと思うのです。

私たちは、そんな両方のアプローチで演劇を応用しながら、人々のコミュニケーション作りに励んでいきたいと思っています。ご支援いただければと思います。

2025年6月 世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井晃

7月・8月のピックアップニュース 6月30日時点

*WS=ワークショップの略

子ども	7月22日(火)～ 8月31日(日)	せたがやアートファーム2025ワークショップ 夏休み 『小学生のためのエンゲキワークショップ』3日間×9コース 『中学生のためのエンゲキワークショップ』3日間×1コース 『高校生のためのエンゲキワークショップ』3日間×1コース 小学生9コース、中学生1コース、高校生1コース(全11コース)	子どものための演劇WS
	7月12日(土)	『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 7月の今日生まれるものがたり編』	子どものための演劇WS
	8月30日(土)	『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 8月のでっかい人形劇編』	子どものための演劇WS
	7月13日(日)	『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(1学期)	中学生活動支援
地域連携	7月2日(水)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』笹原小学校 弱視学級「目の教室」	学校のための演劇WS
	7月14日(月)16日(水)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』経堂小学校6年生	学校のための演劇WS
	8月1日(金)	「世田谷区中学校教育研究会 演劇教育研究部 合同演劇講習会」	中学校演劇のための演劇WSレクチャ
区民参加	7月29日(火)	『デイ・イン・ザ・シアター～〇〇が食べたい!!編～』1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ	劇場での演劇WS
	8月27日(水)	『デイ・イン・ザ・シアター～サンタも夏休み!編～』1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ	劇場での演劇WS
専門家育成	7月21日(月・祝)	演劇WSラボ ラボ生サロン①「PETAツアー報告会」～SPTラボラトリー	専門家育成
	8月8日(金)	せつさんゼミ②～SPTラボラトリー	専門家育成
	8月15日(金)	演劇WSラボ「実践記録」ゼミ	専門家育成

2025年4月～6月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門家育成 …… レクチャーや人材育成の取組 ☆ …… 公演と連携しているプログラム

4月

- 5日(土) ● 『デイ・イン・ザ・シアター ～28回目の劇場のお誕生日編～』
1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ 区民参加
18:00～21:00 (進行役:富永圭一)
- 12日(土) ● 演劇WSラボ2025～SPTラボラトリー (以下、[ラボ]) 専門家育成
「キックオフミーティング」13:00～17:00
- 19日(土) ● 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 4月の街をながめれば編』 子ども
13:00～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 21日(月) ● 『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団 (以下、『巡回団』)』
池尻小学校1年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
「新小学1年生のためのスタートカリキュラム」は、子どもたちの集団生活が始まる時期に、演劇WSを通じてクラスメイトたちと一緒に活動することで、「友だちと協力する力」「自己肯定感」「学校を楽しむ気持ち」などを培うことを目指したプログラムで、2023年度より教育委員会と連携したトライアル事業として開始した。本年度は、これまでの知見を活かし「巡回団」として募集を行い、14学校・45クラス実施した。
- 22日(火) ● 『世田谷パブリックシアター劇場ツアー』 区民参加
①15:00～16:30 劇場ツアー ②18:30～20:00 劇場ツアー+舞台体験
世田谷パブリックシアターとシアタートラムをより身近な存在として感じていただけるように、白井芸術監督と劇場スタッフがナビゲートする劇場ツアーを開催している。普段の客席から見る劇場の魅力だけではなく、舞台上でこそ生まれる魅力を感じてもらうため、今回は劇場ツアーに加えて舞台体験の時間を設けた。実際に舞台上で体を動かしたり声を出してみ、舞台上に立つことを体験していただいた。
- 22日(火) ● 『巡回団』上北沢小学校1年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 23日(水) ● 『巡回団』世田谷小学校1年生 (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 23日(水) ● 『巡回団』世田谷小学校2年生 (進行役:柏木陽) 地域連携
- 24日(木) ● 『巡回団』上北沢小学校1年生 (進行役:田崎葵) 地域連携
- 26日(土) ● 『フリーステージ2025』 区民参加
26日「音楽部門」@シアタートラム
27日「ダンス部門」(フラ・バレエなど) @世田谷パブリックシアター
29日「世田谷クラシックバレエ連盟」@世田谷パブリックシアター
5月5日「ダンス部門」(モダン・ジャズ・ヒップホップ・ベリーダンスなど) @シアタートラム
- 28日(月) ● 『巡回団』砧小学校1年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 30日(水) ● 『巡回団』中丸小学校1年生 (進行役:青山公美嘉、田崎葵) 地域連携
- 30日(水) ● 『巡回団』三軒茶屋小学校1年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携



劇場のお誕生日である4月5日に、白井芸術監督から話を聞いて、劇をつくりました。参加者からの質問をもとに、白井さんの演劇への向き合い方、劇場という場所への想いなど、お仕事に関わることから好きな食べ物まで、話題は多岐にわたりました。話を踏まえて、「劇場」をテーマとした詩を作成し、読み方を工夫して発表しました。



ポカポカの春なので三軒茶屋の街にくりだし、古いモノを探して歩きました。その古いモノがいまここにある理由やそこにある物語を想像して演劇づくり。さびれた公園の蛇口、神社の柱、公園の建物のヒビワレなど、モノに潜む壮大な物語がたくさん生まれました。



当日の舞台体験では、この日のために劇場スタッフが準備した音楽と照明を使って、白井芸術監督の合図で舞台上を歩いたり、スポットライトの中に立って客席へ言葉を発するなど、少しだけ俳優の気分を味わっていただきました。参加した方には「舞台上に立つ出演者のすごさが分かった」「舞台から客席はこんな感じで見えているんだ」といった新たな発見がありました。



身近な物(はさみ、傘、マグネットなど)を元に、五行詩を作成。自分がその物とどう関わっているか、その物をどう思っているかがよく表れた詩が出来上がりました。身近にあるささやかな物について、改めてその場にいる人と考えました。



自分たちが考える「秘密基地」の設計図を書いて、秘密基地を出発し、何かを取りに行く劇をつくりました。宇宙の星を取りに行くための秘密基地や、地中深くにある秘密基地など、色々な工夫を凝らした秘密基地を絵で描いて、想像を膨らませた子どもたちでした。



5月

- 1日(木) ● 『巡回団』世田谷小学校3年生 (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 1日(木) ● 『巡回団』世田谷小学校4年生 (進行役:柏木陽) 地域連携
- 7日(水) ● 『巡回団』笹原小学校「目の教室」(進行役:富永圭一) 地域連携
- 7日(水) ● 『巡回団』松沢小学校1年生 (進行役:すずきこーた、大道朋奈) 地域連携
- 9日(金) ● 『巡回団』用賀小学校1年生 (進行役:田崎葵) 地域連携
- 12日(月) ● 『巡回団』奥沢小学校1年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 13日(火) ● 『巡回団』松沢小学校1年生 (進行役:すずきこーた、大道朋奈) 地域連携
- 17日(土) ● [ラボ]『学校での演劇ワークショップ体験ワークショップ～SPTラボラトリーゼミ』(進行役:すずきこーた、田崎葵) 専門家育成
- 19日(月) ● 『巡回団』多聞小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 20日(火) ● 『巡回団』多聞小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 23日(金) ● 『デイ・イン・ザ・シアター～想いを言葉にしてみる?編～』
1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ 区民参加
19:00～21:00 (進行役:すずきこーた)
- 24日(土) ● 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 5月のココは! われらの秘密基地編』 子ども
13:00～17:00 (進行役:大西由紀子)

6月

- 26日(月) ● 小学校古典芸能鑑賞教室 地域連携
「小学校古典芸能鑑賞教室」は、世田谷区教育委員会からの受託事業で世田谷区立小学校6年生を対象に毎年実施している。今年は5月26日～6月24日の期間で区内61校の6年生全員が「万作の会」の狂言師による狂言『附子』を鑑賞しワークショップに参加した。演目『附子』の太郎冠者と次郎冠者の狂言ならではのコミカルな掛け合いを鑑賞した後、ワークショップでは「柿を食べる」所作や「大笑い」の所作を真似るなど、古典芸能である狂言の世界に触れてもらった。実際にその表現を体験して鑑賞することで、古典芸能の楽しさ、独特な世界観を身近に感じ、伝統文化の大切さを考えてもらう機会を提供した。
- 30日(金) ● 『巡回団』三宿小学校1年生 (進行役:柏木陽) 地域連携
- 1日(日) ● 『デイ・イン・ザ・シアター～もうじき今年も半分おわり…編～』
1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ 区民参加
14:00～16:00 (進行役:柏木陽)
- 2日(月) ● 『シャルル・ブレカールダンスワークショップ&アーティストトーク』 区民参加
2日(月) 14:00～16:00 ダンスワークショップ Aコース【ダンサー・パフォーマー向け】
2日(月) 19:00～21:00 ダンスワークショップ Bコース【一般向け(15歳以上推奨)】
11日(水) 19:00～21:00 アーティストトーク
- 3日(火) ● 『巡回団』瀬田小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ、大道朋奈) 地域連携
- 4日(水) ● 『巡回団』笹原小学校「目の教室」(進行役:富永圭一) 地域連携
- 4日(水) ● 『巡回団』明正小学校1年生 (進行役:田崎葵) 地域連携
- 6日(金) ● 『巡回団』代田小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 8日(日) ● 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 6月のお「て」てがみ編』 子ども
13:00～17:00 (進行役:とみやまあゆみ)
- 9日(月) ● 『巡回団』京西小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 9日(月) ● [ラボ] ゆるっとビブリオバトル 専門家育成
- 10日(火) ● 『巡回団』給田小学校1年生 (進行役:富永圭一、大道朋奈) 地域連携
- 13日(金) ● 『巡回団』京西小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 15日(日) ● [ラボ] お試し実験クラブ 専門家育成
- 16日(月) ● 『巡回団』京西小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 19日(木) ● 『巡回団』下北沢小学校1年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 20日(金) ● 『巡回団』ほっとスクール「城山」(進行役:田崎葵) 地域連携
- 20日(金) ● 『巡回団』京西小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 20日(金) ● [ラボ]「せつさんゼミ～SPTラボラトリーゼミ」(講師:花崎攝) 専門家育成
せつさんこと花崎攝さんは、世田谷パブリックシアターが開館以来、学芸事業(ワークショッププログラム)を中心に、ときにファシリテーターとして、ときにアドバイザーとして、劇場と長く、深く関わり続けている。そんなせつさんと1年を通じて「公共×演劇×ワークショップ」というテーマを掲げ、研究員に向けたゼミを開催した。社会の中で演劇をどのように応用、活用しうのか、せつさんが取り上げる事例、書籍などを参照し、話し合い、思考を深めていく。
- 23日(月) ● 『巡回団』京西小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 24日(火) ● 『巡回団』下北沢小学校1年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 25日(水) ● 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー27 黒須育海』 区民参加
19:00～21:00 ワークショップ
- 25日(水) ● 『巡回団』明正小学校1年生 (進行役:田崎葵) 地域連携
- 27日(金) ● [ラボ] 学芸会・学習発表会クラブ



6月で2025年も半分終わり…ということで、「今年やりたかったけれどやれていないこと・やりたいこと」を共有して、劇にしました。試験勉強にとりかかりたい、人形劇をやってみたいなど、さまざまな願望が劇になり、今年のもう半分が楽しみになる時間となりました。



数々の文化との出会いを経てモントリオールで活躍するシャルル・ブレカール(ベトナム系ニューカレドニア人)のオリジナルメソッド「FLUIDIFY」を体験するワークショップを実施。液体のように流動的なムーブメントを意識しながら留まることなく動きを繋ぎ、心と身体が一体となってどこまでも拡張するのを感じたあつという間の90分でした。



むかしむかし、人々は壁に手形を残してメッセージを伝えあったそうです。そんな昔の人々のように、集まったみんなの手形を描き、その手形はどうして残されたのか、どんなメッセージを伝えようとしたのかなどを想像して劇にしました。危険を知らせるものだったり、素敵な景色の場所を知らせるものだったり、手形にはたくさんのメッセージが込められていました。



初回は「子どものワークショップ」を中心に据えて、ゼミが展開されました。子どもとワークショップをする場が、学校なのと劇場なのとは意味合いが全く変わること、子どもを取り巻く環境やコンテキストを考えることの重要性、子どもたちへの声かけの仕方など、せつさんによるレクチャー、また問いかけのもと、参加したゼミ生同士がたくさん意見を交わす時間になりました。





SPTラボラトリー 「演劇ワークショップラボ2025」

SPTラボラトリーは、演劇と劇場の可能性について思考／実験する場です。今年度のSPTラボラトリーの主な活動は「演劇ワークショップラボ」（以下「演劇WSラボ」）となります。世田谷パブリックシアターは、開館以来さまざまなワークショップ事業を展開してきました。子ども向けのプログラム、障害のある人との演劇づくり、学校から依頼を受けて行うワークショップなど、必ずしも演劇のプロではない人たち、地域の人たちとのワークショップ実践を積み重ねてきました。「演劇WSラボ」では、そのような中で培ってきた知見を、シェアしたり、発展的に活かす活動を模索していきます。さらに、ファシリテーター、俳優、演出家、教員、支援員など、様々なバックグラウンドを持つ人たちが集まり、演劇ワークショップと社会のかかわりについて、互いの関心や悩みを持ち寄り、演劇と社会の関係について思考／実験し、育成しあう場を目指し、2つのフィールドと3つの柱で展開しています。

2つのフィールド

演劇を活用する

教育、福祉など、既にあるコミュニティの現場に演劇的手法、ワークショップの手法を活用し、その現場をより活性化させたり、より有機的に機能する場にしたりすることを目的とする活動。

演劇をつくる

アーティストがイニシアチブを取る形で、地域の声、課題を社会に向けて発信する表現活動。

3つの柱

1 知識を得る

演劇、特に応用演劇の歴史、理論、その思想的背景などについて学ぶ。また、応用演劇が実践されている場がどのような背景において成り立っているのか、その分野の専門家から学ぶ。

2 企画・制作力を高める

自身が実践している活動について、その現場を共有していないにも伝わる言葉で語れるようになる。また、ファシリテーターとしてやりたいこと、ミッションを実現するために必要なコーディネート力、オーガナイズする力を、言語化（語る、文章にする）することで身につける。

3 ネットワークをつくる

応用演劇やワークショップの実践者、またそういった活動をオーガナイズする人などから、その実践例を聞き、学ぶ。また、各々がより豊かな現場をつくるために、実践者が持っている知識、情報を互いに共有するためのネットワークを構築する。

今年度の活動について

【定例会】【ゼミ】【レクチャー】【自主クラブ活動】【実践現場の提供】など、様々なプログラムを用意しています。また一部のプログラムは、**どなたでも参加できる「オープンラボ」として、一般の方にも公開**しています。

定例会

年3回程度の定例会を予定しており、4月にキックオフミーティングを実施。

ゼミ

ファシリテーターのもと参加者自身がともに学び、自身の活動のヒントを見つける場。「実践記録報告ゼミ」「せつさんゼミ」などを予定。

実践現場の提供

劇場でのWSにアシスタントとして参加し、自身の現場に活かすための機会を提供。「学校での演劇WS体験」「聞き書き体験WS」などを予定。

レクチャー

ある手法・知識を持つ実践者から学ぶ場。「応用演劇」や「オルタナティブ演劇」のレクチャーを予定。

ラボ生自主企画

ラボ生の興味関心から研究会を立ち上げ、自主運営していく研究の場。「学芸会・学習発表会クラブ」「SLACK共有クラブ」「お試し実践クラブ」「ゆるっとビブリアオパトル」などを予定。

「演劇WSラボ」に在籍している研究員は、現在71名です。

演劇ワークショップに関心がある、また何らかの形で実践している人たちが年々増えているのを感じています。こうした人材が今後地域のさまざまな現場に活躍の場を広げていくことを期待しています。

